



第2回 eClinical Solutions Forum 2024

施設ユーザーにベンダーまたぎ、スポンサーまたぎのシングルサインオンを提供：

IQVIA One Home for Sites

で業界の課題にアプローチ

2024年12月5日

IQVIAサービシーズ ジャパン合同会社

本資料は未公表の著作物として著作権法その他の法令に基づき保護されております。また、本資料にはIQVIAの秘密情報が含まれているため、掲載内容の一部及び全部を、本資料の開示目的以外の目的で使用したり、IQVIAに無断で転載、複製、公開等することを禁止します。なお、IQVIAは掲載内容の正確性・妥当性につき細心の注意を払っておりますが、その保証をするものではなく、利用者が本資料の掲載内容を利用して行う一切の行為（掲載内容を編集・加工等した情報を利用することを含みます。）について何らの責任を負うものではありません。

Copyright © 2024 IQVIA. All rights reserved.

This document is protected under the Copyright Act and other related laws and regulations of Japan as an unpublished work. This document contains confidential and proprietary information of IQVIA and shall not be (1) used for any purpose other than the essential purpose for which this document is disclosed to the recipient or except those expressly authorized by IQVIA, or (2) duplicated, copied, reproduced or disclosed without prior approval from IQVIA in whole or in part. While IQVIA have paid due care regarding the information contained herein, IQVIA makes no representation or warranty of any kind with respect to the accuracy and adequacy of this information. Accordingly, IQVIA does not accept any responsibility for any actions (including but without limitation, editing and processing) carried out by the recipient of this document utilizing the information contained herein.

Copyright © 2024 IQVIA. All rights reserved.



本日の内容

- + 治験システムの現状と解決策
- + One Home for Sitsデモ
- + まとめ
- + Q&A

治験システムの現状と 解決策



施設の治験実施のためのキャパシティは縮小

53%



試験を実施するためのキャパシティが不十分と回答した施設

Source: Bain report

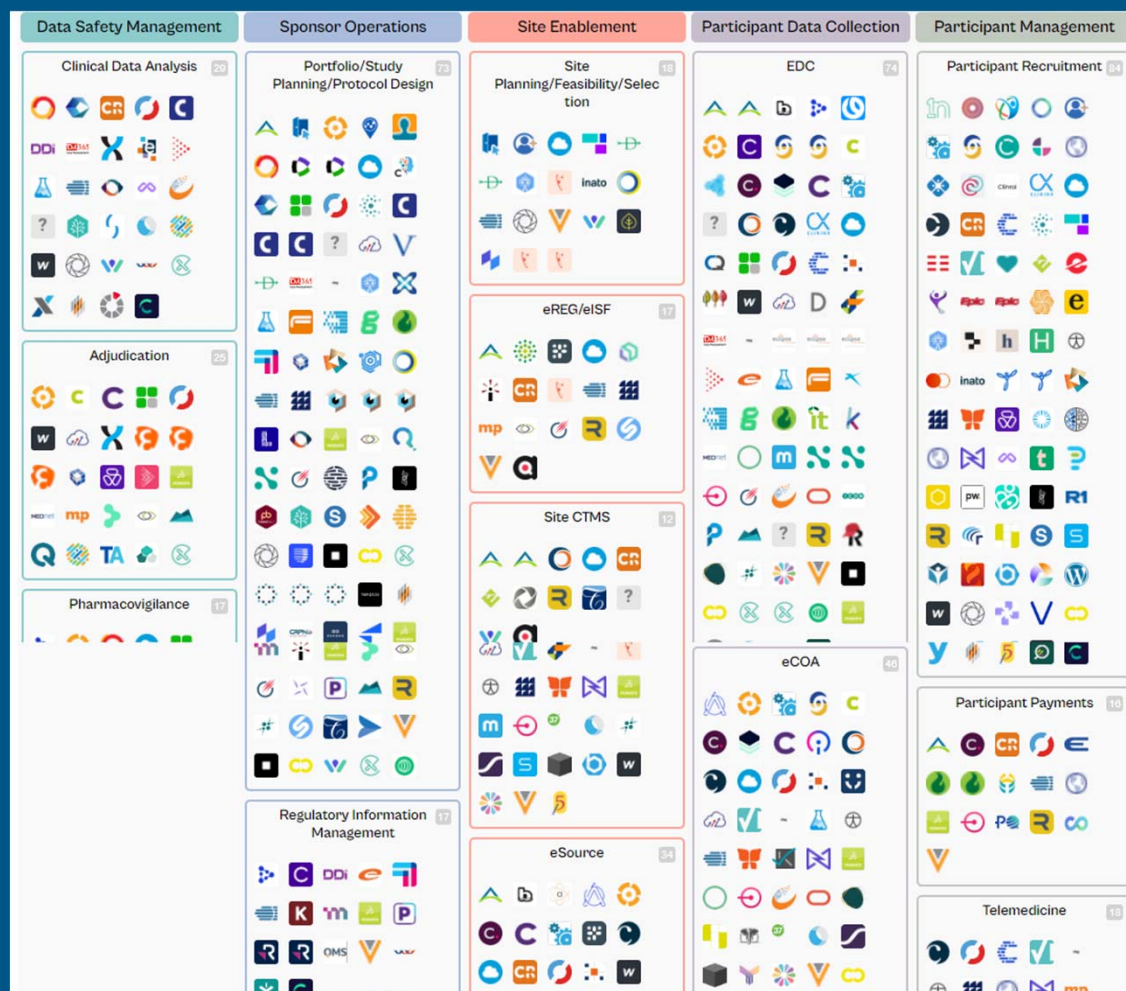
26%



キャパシティの問題で試験を断ったことがある施設

Source: IQVIA Site Survey, June 2023

施設は、複数のスポンサー・CROのエコシステム内で治験業務を行う必要があります



100+

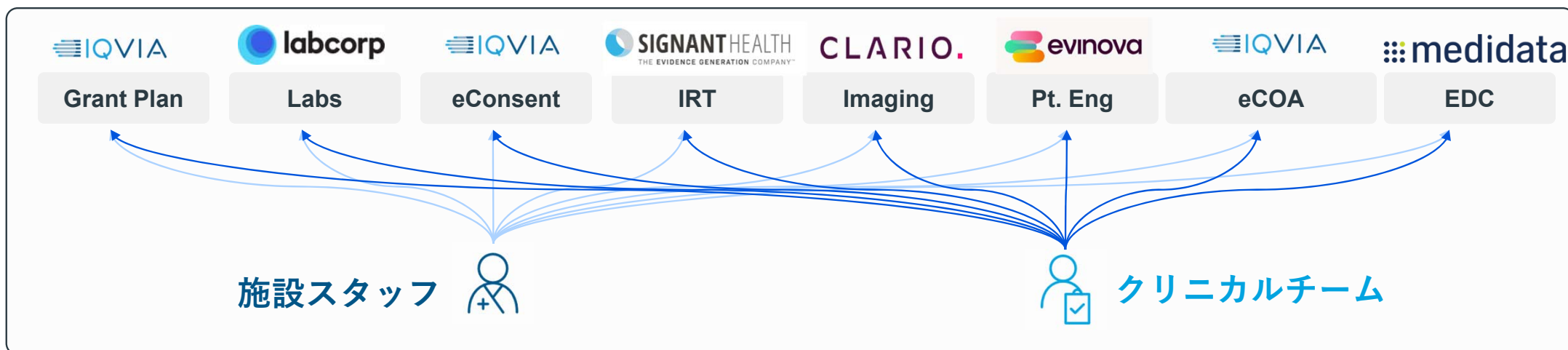
クリニカルテクノロジーシステム

- 施設ユーザーは、全体で70ものパスワードを管理
- スプレッドシートにパスワードを保存することは安全でなく、コンプライアンス違反の可能性も
- 個々のシステムへのナビゲーションは作業負荷が増大、試験の遅延にも

Source: Florence Healthcare

治験システム導入の現在の姿

医療機関スタッフは、携わる試験を管理するための複雑なベンダーエコシステム内にいます



重要な治験業務を完了するために、施設にかかる負担が増大

時間がかかる

コアトリアル活動に集中する代わりに、アクセス管理に時間とエネルギーを消費

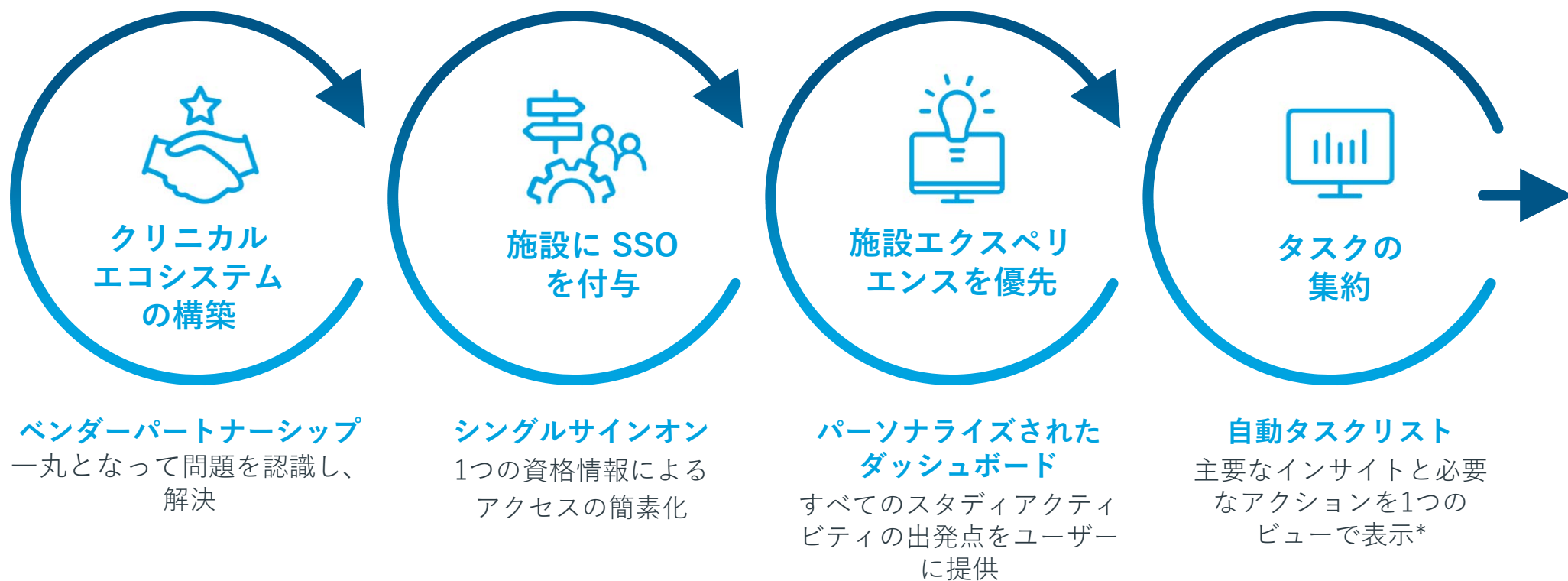
セキュリティリスク

ログイン資格情報の管理にExcelスプレッドシートや付箋を使用

施設の不満

施設は、どの治験でどのシステムを使用し、どこに行くべきかを覚えるのが困難

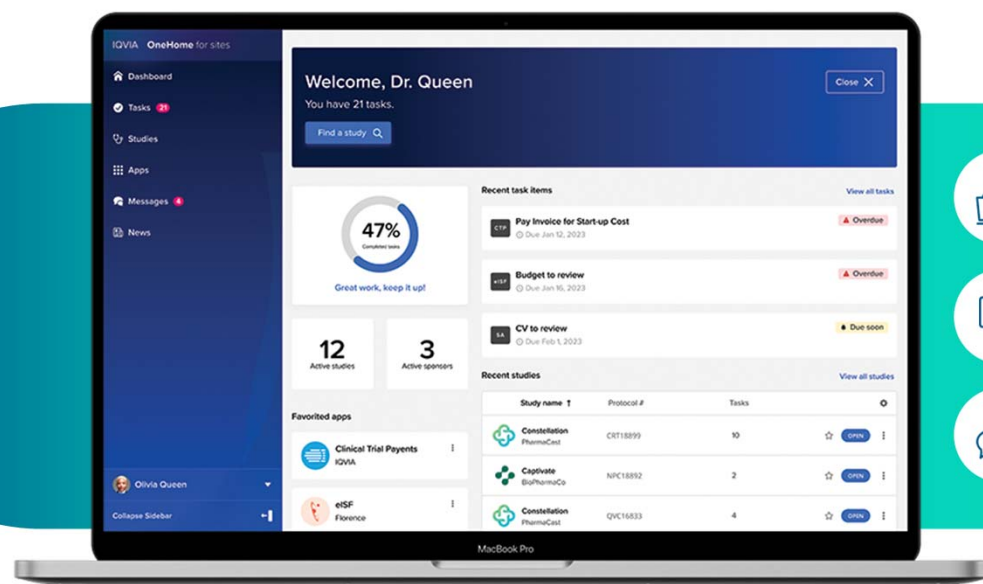
テクノロジーの過負荷に対する唯一の解決策は、業界として取り組むこと



*2025年実装

どう解決する？：IQVIA One Home for Sites

テクノロジー負荷を下げる、システムベンダーに依存しないプラットフォーム



シングルサインオン：施設やスタディ担当者の負担を軽減



タスク管理：サイクルタイムの短縮



施設エンゲージとチャット：コミュニケーション向上とサイクルタイム短縮

シングルサインオンで施設の負担を軽減し、スタディのタスクを施設にわかりやすく提示したり、コミュニケーションパスを統一することでサイクルタイムの短縮を実現します。

IQVIAがこの問題に取り組む理由

臨床開発とソフトウェア開発におけるリーダーシップにより、重要な課題にアプローチ

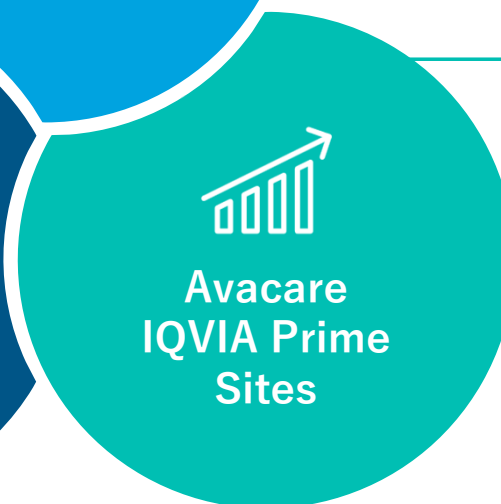
- 市場をリードする技術ソリューションを構築および提供するソフトウェア開発チーム
- 施設により支持される、20 + ClinTech製品
- 60年にわたる業界コラボレーションの成功の歴史



- 世界最大のCRO
- 1700 +の顧客をサポートする300 +の研究を実施
- IQVIA ClinTechおよび35+業界テック製品の主要顧客



- IQVIAが所有する施設ネットワーク内の20+の治療領域にわたる200+人の研究者プライムサイトとパートナーサイト、治療ネットワークを通じた世界規模のアライアンス
- これらの関係をフィードバックとパイロットに活用する

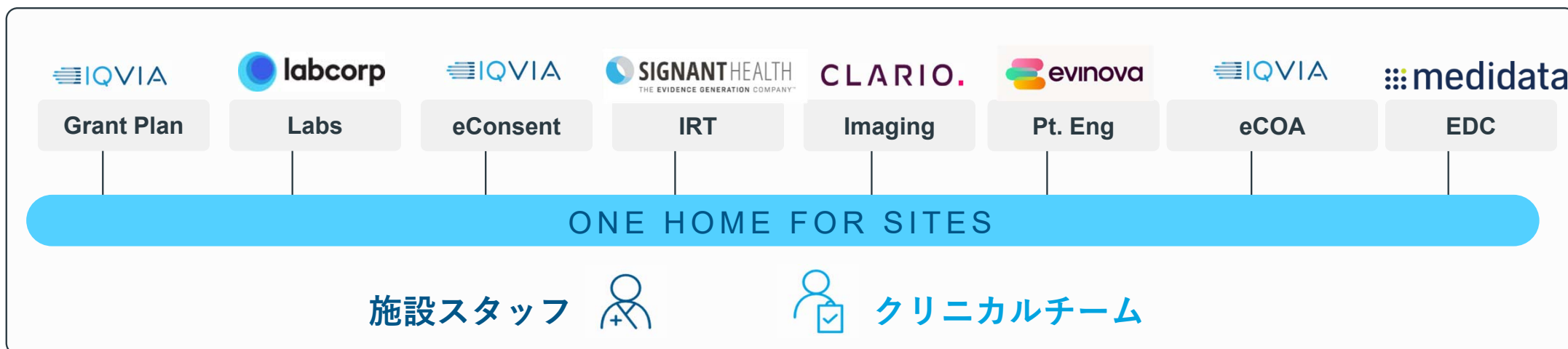


One Home for Sites デモ



まとめ：施設エクスペリエンスを変革する治験エコシステムを実現

スポンサー、CRO、テクノロジーベンダーの垣根を越えて、一緒に推進しましょう



より素早いアクセス

システム間を素早く移動。テクノロジーは阻害要因でなく、複数の治験を実施することを可能にするためのものに

キャパシティ改善

複数の試験、複数のスポンサー、システムでの優先事項を把握し、混乱なくタスクを迅速に完了する

ハッピーな施設

スポンサーの施設スタッフとのより良い相互作用と、患者さんにフォーカスしてを当てながらより多くの試験を実施

ご清聴ありがとうございました！

yumi.inadome@iqvia.com

Q&A

